

整理番号	区域	医療機関名	病床機能報告による機能別病床数 ※1				施設基準の状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3				「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋（プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理） ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5					
			R3.7.1		R7.7.1			地域医療支援	救急医療施設	在宅医療支援	在宅医療支援施設		終末期医療	機能別病床数(2025)	変更あり	変更なし	検討中	具体的な変更内容等
			許可病床数(精神・感染症・結核除く) R3.7.1 ※1	回復慢性	回復慢性	回復慢性												
11	下関	王司病院	療養 177	回復慢性 177	回復慢性 177	回復慢性 60	回復慢性 117	回復慢性 60	回復慢性 117	回復慢性 60	回復慢性 117	回復慢性 60	回復慢性 117					・下関市内や山陽小野田市を含めた総合病院からの受け皿として、当院の役割を明確にし、それに合った病院機能を備える。 ・地域のクリニックとの繋がりを強化し、病診連携を図ることで地域医療へ貢献する。 ・在宅復帰のための援助及び住み慣れた場所で生活するための支援、通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問看護など介護サービスの提供及び介護予防支援を行い、法人全体で地域の健康増進を図る。
12	下関	長府病院	一般 60	慢性 60	慢性 60	慢性 60	慢性 60	慢性 60	慢性 60	慢性 60	慢性 60	慢性 60	慢性 60					・障害者の受け入れ、レスパイト等で貢献していく。 ・介護医療院への転換が可能となったときは、介護医療院へ。
13	下関	済生会豊浦病院	一般 275	急性回復慢性 189	急性回復慢性 144	急性回復慢性 45	急性回復慢性 86	急性回復慢性 144	急性回復慢性 45	急性回復慢性 86	急性回復慢性 144	急性回復慢性 45	急性回復慢性 86					・高度急性期医療は主に下関市内4大病院が担っており、当院では主に急性期～慢性期、在宅を担う。 ・当院入院患者の疾患は多岐に亘っており、当該区域唯一の総合病院として、幅広い疾患に対応している。 ・公的病院として、併設する下関市豊浦地域ケアセンターと共同して事業を進め、地域包括ケアシステムの構築を目指していく。 ・救急医療については、多くの救急患者を受け入れ、当該区域で当院が果たしている重要な医療機能の1つ。 ・下関市北西部をエリアとする唯一の基幹病院として、二次救急にも対応し、急性期の医療の質を確保するとともに、地域の高齢化に対応するため、回復期・慢性期・在宅の充実が必要とされている。 ・公的病院として、併設する下関市豊浦地域ケアセンターと共同して事業を進め、地域包括ケアシステムの構築を目指していく。 ・一層地域医療へ貢献するため、急性期を担う下関市内4大病院との関わり・連携を強化するとともに、回復期機能の充実を検討する。
14	下関	下関医療センター	一般 285	高度急性休棟 285	高度急性休棟 142	高度急性休棟 47	高度急性休棟 142	高度急性休棟 47	高度急性休棟 142	高度急性休棟 47	高度急性休棟 142	高度急性休棟 47	高度急性休棟 142					・地域医療支援病院として、地域の病院・診療所等と連携している。 ・救急告示病院・第二次救急病院群輪番制病院として救急医療を提供している。 ・健康管理センター、介護老人保健施設、訪問看護ステーションを併設している。 ・当院の機能は、市内の急性期病院との連携の枠組みで急性期疾患の診療を提供することである。 ・地域医療構想調整会議等での協議の結果、2025年までに段階的に再編することが望ましいとされたため、当院では、従来と同水準の急性期医療を維持・提供しつつ、他病院との統合を視野に入れた計画的な診療科の配置や病床数の調整を行う必要がある。
15	下関	安岡病院	一般 234	回復慢性 80	回復慢性 234	回復慢性 106	回復慢性 128	回復慢性 106	回復慢性 128	回復慢性 106	回復慢性 128	回復慢性 106	回復慢性 128					・回復期機能と慢性期機能を担う。 ・へき地に対する巡回診療 ・地域包括ケア病床を増床し、急性期病院及び地域の在宅医療支援診療所からの紹介入院を中心とした回復期医療（ポスト・サブアキュート機能）の提供体制を充実・強化していく役割。 ・慢性期医療環境を整備すると共に、特に緩和ケア（がん・神経難病）を通して、質の高い地域慢性期医療を提供していく役割。
16	下関	武久病院	一般 267	回復慢性 60	回復慢性 267	回復慢性 87	回復慢性 180	回復慢性 87	回復慢性 180	回復慢性 87	回復慢性 180	回復慢性 87	回復慢性 180					・回復期機能と慢性期機能を担う。 ・地域包括ケアシステムの構築を実現すべく、急性期病院、かかりつけ医、地域包括支援センター等との連携を強固なものにしていく。 ・医療、介護の中重度者を地域で支える役割を担っていく。
17	下関	森山病院	療養 86	慢性 86	慢性 86	慢性 86	慢性 86	慢性 86	慢性 86	慢性 86	慢性 86	慢性 86	慢性 86					・慢性期機能を担う。 ・地域の急性期病院からの受け皿としての役割。 ・リハビリによる在宅復帰・機能の維持。 ・地域の施設への訪問診療・急変時の対応。
18	下関	西尾病院	療養 75	慢性 75	慢性 75	慢性 75	慢性 75	慢性 75	慢性 75	慢性 75	慢性 75	慢性 75	慢性 75					・慢性期機能を担う。 ・急性期病院・開業医からの受入先としての慢性期病院の体制の維持。
19	下関	光風園病院	一般 285	回復慢性 60	回復慢性 285	回復慢性 225	回復慢性 60	回復慢性 225	回復慢性 60	回復慢性 225	回復慢性 60	回復慢性 225	回復慢性 60					・急性期からの受け入れ（ポストアキュート）や地域の開業医・施設等更なる連携強化による在宅支援機能（サブアキュート）の充実させ、地域多機能型病院としての役割を果たしていく。 ・急性期からの受け入れ（ポストアキュート）や地域の開業医・施設等更なる連携強化による在宅支援機能（サブアキュート）の充実させ、地域多機能型病院としての役割を果たしていく。
20	下関	稗田病院	療養 80	慢性 80	慢性 80	慢性 80	慢性 80	慢性 80	慢性 80	慢性 80	慢性 80	慢性 80	慢性 80					・入院待機状態も多く、地域の確たる需要がある。ターミナルケアを含む地域のニーズに応えていく。 ・入院待機状態も多く、地域の確たる需要がある。ターミナルケアを含む地域のニーズに応えていく。
病院小計			3,862	3,862	3,862	3,862	3,862	3,862	3,862	3,862	3,862	3,862	3,862					3,700 高度 406 急性 958 回復 1,084 慢性 1,252
21	下関	帆足医院	一般 8	急性 8	急性 8	急性 8	急性 8	急性 8	急性 8	急性 8	急性 8	急性 8	急性 8					・大腸ポリペクトミー後の一泊入院のみ。月多くて5名程度。 ・将来的には無床化する予定。
22	下関	医療法人松永会 まつなが医院	一般 15	急性 7	急性 15	急性 15	急性 15	急性 15	急性 15	急性 15	急性 15	急性 15	急性 15					・地域包括ケアシステムに向けて取り組んでいく。 ・急性期機能を担う。
23	下関	井町産婦人科医院	一般 12	急性 12	急性 12	急性 12	急性 12	急性 12	急性 12	急性 12	急性 12	急性 12	急性 12					・地域周産母子センターの済生会下関総合病院だけでは対応できない正常分娩を主とした周産期医療体制を維持していく。 ・正常妊娠の管理・分娩、日常生活における婦人科的諸症状への対応、更年期・老年期の婦人科諸症状への対応を維持していく。 ・女性の生き方が多様化し寿命が延びるなか、単に婦人科的診療だけでなく女性科として女性の生理的なサポートを行う。
24	下関	細江クリニック	一般 19	急性 19	急性 19	急性 19	急性 19	急性 19	急性 19	急性 19	急性 19	急性 19	急性 19					・公的病院と連携し、人工透析医療の提供の維持。 ・透析予防への医療的指導の維持。
25	下関	時任整形外科リウマチ科	一般 10	休棟 10	廃止 0	廃止 0	廃止 0	廃止 0	廃止 0	廃止 0	廃止 0	廃止 0	廃止 0					・地域医療計画は存在するが、現実的に高度な医学的管理を必要としながらも介護度の高い方の受け入れ先はどうしても必要となる。その担い手となる病院にベッドを譲渡する必要がある。
26	下関	藤野産婦人科医院	一般 16	急性 16	急性 16	急性 16	急性 16	急性 16	急性 16	急性 16	急性 16	急性 16	急性 16					・急性期機能を担う。 ・今後もこの地域の産科医療提供施設として活動していく予定。
27	下関	長府第一クリニック	一般 19	慢性 19	慢性 19	慢性 19	慢性 19	慢性 19	慢性 19	慢性 19	慢性 19	慢性 19	慢性 19					・慢性期機能を担う。 ・透析の施設が、下関において当クリニックより北方向（瀬戸内沿）にはないため、利用してもらおう。

整理番号	区域	医療機関名	許可病床数(精神・感染症・結核除) R3.7.1 ※1			病床機能報告による機能別病床数 ※1			施設基準の状況 R3.7.1 ※2	認定・届け出等 ※3				「公的医療機関等2025プラン」又は「医療機関2025プラン」の記載内容のうち、「自施設の現状」「今後の方針」「4機能ごとの病床のあり方について」から集約・抜粋(プラン未作成の有床診療所については、病床機能報告の報告内容から整理) ※4	「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」の検討結果 ※5								
			R3.7.1	R7.7.1	R3.7.1	R7.7.1	在宅医療施設	在宅医療後方支援		在宅医療後方支援	終末期医療	病院の特徴・役割	今後の方針		機能別病床数(2025)	変更あり	変更なし	検討中	具体的な変更内容等				
																				高度急性	急性	回復	慢性
28	下関	医療法人社団若草会 木本クリニック	一般 19	回復 19	回復 19								○	・4機能のうち、回復期が中心。	・地域における回復期機能を提供する医療機関として、体制を維持していく。	回復 19				現在は休床中であるが、過疎地域の要望に応えるべく、有床診療所として回復期機能及び慢性期機能を維持して行きたい。			
29	下関	医療法人池田会 いけだ内科	一般 18	急性 18	急性 18								○	・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	急性 18							
30	下関	医療法人正祥会 にしはらクリニック	一般 18	急性 18	急性 18								○	・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	急性 18							
31	下関	佐々木整形外科	一般 14	急性 14	急性 14									・急性期機能を担う。	・地域における急性期機能の一翼を担う。	急性 14	○			現在の急性期病床14床を、9床に減床する。 ※R5.3月 調整会議でプラン変更を合意済み			
32	下関	門脇医科歯科医院	一般 13	休棟 13	休棟 13									・スタッフ不足により休床中。	・急性期機能を担う。	休棟 13							
33	下関	医療法人社団林田クリニック	一般 17	急性 17	急性 17								○	・認知症透析患者、低所得透析患者の社会的入院が受け入れられない。	・認知症患者、高齢低所得患者の居宅の確保。	急性 17							
34	下関	医療法人牛尾医院 亀の甲クリニック	一般 19	急性 19	急性 19								○	・在宅療養支援診療所であり、訪問診療・訪問看護の実施、地域の診療所からの紹介も含め、緊急入院が約半数。	・地域密着型有床診療所及び地域包括ケアシステムの構築に役立つ在宅療養支援診療所としての役割を果たす。 ・かかりつけ医、呼吸器・老年病専門医として外来診療を行い、身近な所でいつでも入院できることで高齢者の在宅生活を支援する。 ・在宅療養支援診療所として24時間体制で、在宅患者の急変時の対応、日常の療養支援、在宅での看取りなど、在宅医療(訪問診療)に積極的に関わり、看護・介護も含めた多職種連携を推進する。	急性 19							
35	下関	医療法人社団野口産婦人科医院	一般 10	急性 10	急性 10									・4機能のうち、周産期、婦人科疾患に関する業務のため急性期が中心。	・地域における周産期医療の前線を支える必要がある。 ・現状は維持する。	急性 10							
36	下関	平尾泌尿器科	一般 12	急性 12	急性 12									・急性期機能を担う。	・急性尿路感染症や尿閉等の排尿障害の短期入院、陰嚢水腫や経尿道的手術等の簡単な手術の実施、前立腺生検等の検査入院、慢性透析患者の急変時の対応。	急性 12	R5.1無床診療所へ移行済のため対象外						
37	下関	すみだ内科クリニック	一般 19	回復 19	回復 19								○	・4機能のうち回復期が中心。	・総合病院入院から、すぐ在宅に戻れない患者の回復、透析開始から在宅にすぐもどれない患者の在宅に繋ぐ支援、在宅療養患者の急変、悪化に対応するため、24時間対応の体制を維持していく。	回復 19							
38	下関	やかべ産婦人科医院	一般 18	急性 18	急性 18									・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	急性 18							
39	下関	医療法人広祐会 徹クリニック	一般 3	急性 3	急性 3									・急性期機能を担う。	・消化器病の検査・治療(がん検診)。 ・肛門疾患の専門的治療。	急性 3							
40	下関	織田クリニック	一般 9	休棟 9	休棟 9									・休床中。	・現状は休床中であるが、有床を続けるかどうかは後継者次第。	休棟 9							
41	下関	医療法人社団藤本医院	一般 19	休棟 19	急性 19								○	・急性期機能を担う。	・総合病院では入院対応しない中等度～軽度の回復期、慢性期の患者から独居・高齢・不安等を理由に相談があるため、地域の回復期機能の一翼を担うためにも入院ベッドは維持していきたい。	急性 19							
42	下関	敬愛堂京野眼科クリニック	一般 4	休棟 4	休棟 4									・休床中。	・休床から再開する。 ・急性期機能を担う。	休棟 4							
43	下関	長府みらいクリニック	一般 19	急性 19	急性 19									・急性期機能を担う。	・急性期機能を担う。	急性 19							
44	下関	佐島医院	一般 12	慢性 12	廃止 0									・慢性期が中心。	・近年一次救急患者が減ってきて慢性期患者(老人)が増えてきている。老人を入院させると人手が多くなるが人材がなかなか見つからず5床減してきまこまい看護をしてゆきたいと思う。	廃止 0	R5.3無床診療所へ移行済のため対象外						
45	下関	淺野整形外科医院	一般 19	回復 19	回復 19									・回復期機能を担う。	・急性期病院が担えない外傷患者の受け入れ。 ・在宅復帰へのためのリハビリ機能。	回復 19							
46	下関	伊藤内科医院	一般 19	慢性 19	慢性 19									・慢性期機能を担う。	・かかりつけ医機能強化、介護施設との連携、大・中病院の後方支援体制強化、緊急体制対応、入院支援強化、在宅医療への注力、看取り実施。	慢性 19				在宅医療への注力→在宅医療への支援(在宅復帰のためのリハビリ機能強化)			
47	下関	いとう腎クリニック	一般 19	慢性 19	慢性 19									・透析ベッド42床(夜間透析実施)。	・高齢で要介護度の高い患者、慢性度の高い透析患者の受入体制への対応、入退院支援対応、総合病院等の後方支援対応。 ・院内療法士によるリハビリ、介護部門との連携。	慢性 19				これまでと同様、高齢で要介護度の高い患者、慢性度の高い透析患者の受入体制への対応、入退院支援対応、総合病院等の後方支援対応。 ・院内療法士によるリハビリ、介護部門との連携。			
48	下関	(医)慶愛会クレスト整形外科	一般 19	回復 19	回復 19									・手術適でない骨折等の急性期から回復期、及び慢性期の急性悪化例の入院リハビリ。	・手術例以外の急性期から回復期、慢性期の急性悪化例の入院治療、又、総合病院での術後や高度の急性期医療後のリハビリ。	回復 19							
診療所小計			418	396	0	418	218	237	76	76	57	26	0	0	8	0	9	370	0	24	0		
医療圏合計			4,280	2,600	1,312	4,280	1,207	1,367	436	105	962	436	526	4	4	10	6	9	4,070	406	1,195	1,160	1,309

※1:令和3年度病床機能報告における病床数。

※2:中国四国厚生局「届出受理医療機関名簿(届出項目別)」において、「【地域A:地域包括ケア病棟入院料又は地域包括ケア入院医療管理料】、【回リハ:回復期リハビリテーション病棟入院料】を届け出ている病床数。

※3:【地域医療支援:地域医療支援病院の承認を受けた病院】、【救急医療施設:二次救急医療施設の認定を受けた病院は「○」、三次救急医療施設の認定を受けた病院は「◎」】、【在宅医療支援:在宅医療支援病院又は在宅医療支援診療所の届出のある医療機関】、【在宅医療後方支援:在宅医療後方支援病院の届出のある病院】、

【終末期医療:令和3年度病床機能報告における「有床診療所の役割」の項目のうち、「終末期医療」を選択している有床診療所】

※4:「機能別病床数(2025)」については、令和4年12月までに調整会議において合意された2025プランの内容を反映している。また、有床診療所については、「病床機能報告による病床数」の「R7.7.1」の機能別病床数を反映している。

※5:「具体的対応方針の見直し・検証」及び「構想区域全体の2025年の医療提供体制の検討」を行った結果、具体的対応方針(2025プラン等)について、①変更を行う場合、「変更あり」に○を付し、具体的な変更内容等を記載する。

②変更が必要な場合、「変更なし」に○を付し、変更しない理由等を記載する。③検討中の場合、「検討中」に○を付し、可能な範囲で具体的な検討内容を記載する。